

## 学校給食の在り方について（報告）

呉市の学校給食には、デリバリー給食の喫食率低下や給食施設の老朽化などの課題があり、令和元年7月から令和2年6月にかけて行われた文教企業委員会の所管事務調査の中で、当局において検討委員会を設置し、課題を総合的に検討するよう提言がありました。

これを受けて、令和3年度に学識経験者、保護者代表、無作為抽出で選ばれた市民代表など10名で組織する「呉市小中学校給食検討委員会（委員長：呉市PTA連合会会長）」（以下「検討委員会」といいます。）を開催し、学校給食の在り方について意見及び提案が出されましたので、報告します。

### 1 中学校給食のこれまでの経緯と現状

旧呉市の中学校では、旧来から給食を提供していませんでしたが、中学校給食の提供を望む声の高まりもあり、平成27年度からデリバリー給食を開始しました。

デリバリー給食は、平成26年1月の教育企業委員会で行政報告したとおり

- ① 様々な提供方法の中で最も早期に実施できること。
- ② 初期投資額が最も安価であること。
- ③ 家庭で作る弁当と併用できる選択制の導入が可能であること。

から取り入れられた提供方法ですが、喫食率低下などの課題が出てきました。

このことは、所管事務調査での指摘事項であり、また、令和元年度に実施した「学校給食に関するアンケート調査」の中で、デリバリー給食実施校の保護者の約2割しかデリバリー給食を望んでいないといった調査結果に示されています。

## 2 呉市の学校給食の課題

### (1) デリバリー給食の喫食率低下への対応

本市の中学校では、学校により給食の提供方法が異なり、デリバリー方式実施校では、喫食率が、開始初年度（平成27年度）の約45%から、令和2年度には約20%まで低下しています。

### (2) 給食施設の老朽化への対応

本市においては、給食施設を有する小中学校が30校ありますが、耐用年限を既に経過した給食施設が約半数と多く、建物の老朽化が進んでいます。

### (3) 学校給食衛生管理基準への対応

平成10年以降に建設した調理場は、国が望ましいと示している衛生的かつ安全なドライシステム※1を導入していますが、多くのドライシステムを導入していない調理場は、「学校給食衛生管理基準」に基づき、ドライ運用※2をしています。

※1 床に水が落ちない構造の施設・設備、機械・器具を使用し、床が乾いた状態で作業をするシステム

※2 ドライシステムの調理場ではないが、作業の工夫により、ドライシステムと同様に床が乾いた状態で作業をすること。

### (4) 少子化に伴う給食施設の適正規模への対応

本市の児童生徒数は将来的に大幅な減少が見込まれているため、給食施設の整備については食数減少に応じた対応が求められています。

## 3 検討委員会の開催

上記の課題のうち、特に旧呉市の中学校給食の提供方法について検討を行うため、検討委員会を開催し、意見及び提案をいただきました。

#### 【検討委員会の開催状況】

	開催日	内 容
第1回	令和3年10月1日	給食の提供方法（学校給食をめぐる状況と課題，給食に求めるもの）
第2回	令和3年12月2日	給食の提供方法（考えられる給食の提供方法，望ましい給食の提供方法）
第3回	令和4年2月25日	給食の提供方法（給食の提供方法（モデルプラン）に対する意見及び提案）
第4回	令和4年3月25日	「学校給食のあり方についての報告書（案）」に対する意見

#### 4 検討委員会からの意見及び提案

4回の会議の中で，給食の提供方法について検討委員会から出された主な意見及び提案は，次のとおりです。  
また，これらの意見及び提案をまとめた「給食のあり方についての報告書」を作成しました。

##### 【主な意見】

##### (1) 給食の提供温度

中学校でも，小学校と同じように温かい給食を提供してほしい。

##### (2) 選択制と全員喫食

ア 保護者の中には弁当を持たせたい者もいるが，ほとんどの保護者は全員喫食の給食を望んでいる。

イ 弁当を作ることが保護者の負担になっていて，全員喫食の給食の提供は子育て支援につながる。

ウ みんなが同じものを食べることで，食育を進めやすい。

### (3) 中学校での全員喫食の温かい給食の提供時期

できるだけ早く全員喫食の温かい給食を提供してほしい。

### (4) 給食施設の整備

ア どのような給食施設であるかということは大切だが、それ以上に全員喫食の温かい給食をとにかく早く提供することを優先してほしい。

イ 少子化の進展をにらみながら、将来的に発生する余剰施設をできるだけ少なくしてほしい。

ウ 呉市の中にも地域特性がある。提供方法を考える際は、地域ごとの特色を大切にしてほしい。

### 【提案】

#### 既存給食施設活用品案（早期実現案）＋ 望ましい給食施設の将来整備案

既存給食施設活用品案（早期実現案）として、小学校にある既存の自校方式給食施設に最小限の改修を行い、近くの中学校に給食を配送できるようにする（親子方式化）。

その後、望ましい給食施設の将来整備案（老朽化対策）として

#### ① 中学校区単位給食施設新築案（親子方式主体案）

中学校区を基本とするブロックごとに給食施設を建て替え、ブロック内の学校に配送する。

#### ② 地域単位給食施設新築案（小規模給食センター方式主体案）

旧呉市を3ブロックに分け、それぞれに共同調理場を1か所ずつ新築する。

#### ③ 広域給食施設新築案（大規模給食センター方式主体案）

旧呉市をエリアとする大規模な共同調理場を1か所新築する。

のいずれかで、少子化に対応した施設整備を進める。

## 5 今後のスケジュール

検討委員会や議会の意見などを参考に、今年度中に学校給食の提供方法を決定し、生徒や保護者に喜ばれる学校給食の早期実現を目指します。

[参考資料／学校給食のあり方についての報告書]